

【記載例】

特別徴収切替届出（依頼）書		年度	
		1. 8年度	2. 9年度
令和 ××年○○月△△日 提出 (宛先)○○○市区町村長		所在地 (住所) 〒012-3456 ○○県××市△△1-2-3	特別徴収義務者 指定番号 12345678 <small>※市区町村ごとに異なります</small>
フリガナ カブシキガイシャ マルバツショウジ		フリガナ トクチョウ イチロウ	特別徴収義務者 係 人事課人事労務係
名称 (氏名) 株式会社 ○×商事		フリガナ 特徴 一郎	担当者 氏名 特徴 花子
代表者の 職氏名		生年月日 昭和・平成 50年1月1日	担当者 電話 000-000-0000
法人番号 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1月1日現在の住所 〒000-0000 板橋区○○1-2-3	特別徴収 開始予定月 月分 (月 日納期分) から 特別徴収を開始します。
給与支払者 (特別徴収義務者)		現在の住所 〒 - ※1月1日現在の住所と違う場合に記入してください。	届出理由 1. 入社 2. その他 ()
普通徴収切替期別 期別を○で囲んでください。 [1・2・3・4・] 期以降を切替希望 ※普通徴収の納期限を過ぎたもの又は過年度分は、特別徴収への切替ができません。		受給者番号	月割額の連絡 必要な場合のみ記入してください。 月 日 までに通知書が必要 ※通知書が間に合わない場合のみ電話連絡します。
【添付書類】 1. 普通徴収の納付書 (二重納付防止のため、残りの納付書(納期未到来分)を添付してください。) ※すでに納付済みの分や口座振替の場合は不要です。		【注意事項】 1. 普通徴収の納期限は年4回あるため、特別徴収への切替は、2か月程度の余裕を持って行ってください(市区町村ごとに通知の発送期日が異なるため)。 2. 4月1日以降の提出の場合、前年度分については当該年度を特別徴収に切り替えることはできません(新年度からの切替は可能です)。 3. 当該年度の4月1日時点で65歳以上の方については、年金所得に係る税額を給与からの特別徴収に追加することはできません。 4. 特別徴収税額通知(納税義務者用)の受取を電子データで希望する場合、受給者番号の設定が必要です。 ※受給者番号の記載がない場合は、区が任意の番号を設定します。	
【提出先】 〒173-8501 板橋区板橋二丁目66番1号 板橋区役所 総務部 課税課 課税第一～第四係		特別徴収税額通知(納税義務者用)の受取を電子データで希望する場合、受給者番号の設定が必要です。 ※普通徴収の納付書に記載されている通知書番号の記入欄ではありません。勤務先で任意の番号を設定してください。	

税額通知の特別徴収義務者指定番号を記入してください。新規の場合は記入不要です。

新規の場合はどちらかに○をつけてください。

本件について、区からの問い合わせにご対応される方の所属・氏名・電話番号を記入してください。

何期分から特別徴収に切り替えるか○印で囲んでください。

勤務先での特別徴収開始予定月を記入してください。

通知書が必要な日程が決まっている場合は記入してください。